

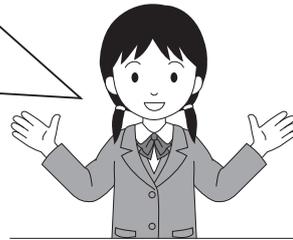
6

岩田さんの学級では、卒業文集の題名を決めています。次は、話し合いの内容を整理した【黒板】と【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【黒板】

題名の候補について		
候補	メモリー ～いつも隣に友がいた～	はばたき ～きずなを胸に～
整理	学級の団結力	
共通点		
相違点	過去の思い出	

【話し合いの一部】



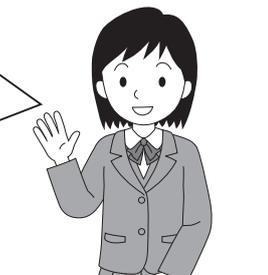
岩田さん（司会）

前回、題名の候補を「メモリー～いつも隣に友がいた～」と「はばたき～きずなを胸に～」に絞りました。今日は、題名を決定します。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってください。それでは、南さんからお願いします。



南さん

「メモリー～いつも隣に友がいた～」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出すことでしよう。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。



高橋さん

「はばたき～きずなを胸に～」を推薦する理由は二つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のこと「きずな」という言葉に込められているからです。

一 【黒板】にある相違点の欄の に当てはまる言葉を、高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書きなさい。

二 このあと、司会の岩田さんは、どのように話し合いを進めていけばよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 題名の候補を他にも複数挙げさせ、これまでの二つの案と比べてそれぞれのよさを述べさせる。
- 2 どちらの題名がよいかすぐに手を挙げさせ、その結果を参考にして最終的に司会が決定する。
- 3 それぞれの題名に賛成する人たちでグループを作り、そこで出た意見を次回までに整理する。
- 4 推薦理由の共通点を確認し、相違点について他の人から質問や意見を求めて題名を一つに絞る。